



2024年2月14日

各位

会社名 住友重機械工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 下村 真司  
(コード番号 6302 東証プライム)  
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長  
島村 佳孝  
(TEL. 03-6737-2333)

## 当社子会社による新造船事業からの撤退に関するお知らせ

当社は、2024年2月14日開催の取締役会において、当社の100%子会社である住友重機械マリンエンジニアリング株式会社（以下SHI-ME）が行う一般商船の新造船事業から撤退することを決議しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業撤退の理由

当社の造船事業は1897年に浦賀船渠株式会社として創業以来、別子銅山の工作方と並ぶ祖業の一つとして120余年にわたり、事業運営を行ってまいりました。2003年にはSHI-MEとして当社から分社化し「中型タンカーNo.1」を掲げ、アフラマックスタンカーへの差別化集中戦略をとり、新造船事業および修理船事業他を運営してまいりました。順調に業績を伸ばしてきたなか、2008年のリーマンショックを契機に船価が急速に悪化するなど、新造船事業を取り巻く環境は悪化。受注隻数を制限し建造体制の見直しを行うなど、様々な手段を講じてまいりました。しかしながら、鋼材や資機材価格の高騰および船価の大きな変動への対応、また需給ギャップ拡大による諸外国との厳しい競争環境の継続が予測されることから、新造船事業の今後についてSHI-MEとともに検討を重ねてまいりました。

その結果、当社として将来的に事業を継続することは困難と判断し、2024年度以降の一般商船の建造について新規受注を停止し、2023年度末受注残の製作完了をもって本事業から撤退することを決定しました。

#### 2. 事業廃止の概要

##### (1) 撤退する事業の概要

- ・SHI-MEにおける一般商船の新造船事業

##### (2) 新造船事業の2023年度経營業績

受注高	売上高
169.6億円	195.0億円

#### 3. 今後の予定

新造船の受注残につきましては、お引渡しまで責任を持って建造してまいります。また、建造船のアフターサービス、修理船事業についても継続して対応いたします。さらに、今後は中期経営計画2026におけるエネルギー・ライフラインセグメントの方針に基づき、脱炭素エネルギー領域における洋上風力発電の基礎構造物や関連船舶等の事業化を進め、当社として人員の配置転換など経営資源の

再配分を行うとともにSHI-MEの収益安定化を図ります。

なお、新造船建造に使用している土地の一部は、当社100%子会社の住友建機株式会社が横須賀工場を建設し、油圧ショベルの一部機種を生産する予定です。

#### 4. 業績に与える影響

当該事業からの撤退に伴い、2023年12月期において事業整理損失引当金繰入額840百万円を特別損失として計上しております。

なお、2024年12月期の連結業績予想には当該事業からの撤退による影響額を織り込んでおります。

以 上